

平成17年度 第1回 庄原市長期総合計画革審議会 会議録(摘録)

1. 開催日時 平成17年10月24日(月)
開 会 : 13時27分
閉 会 : 15時51分
2. 開催場所 庄原市役所 本館2階会議室
3. 出席委員 日野原 貢 委員 ・ 長曾チクサ 委員 ・ 長岡 廣樹 委員
谷本 淳一 委員 ・ 塩本 誠二 委員 ・ 湯川 圭司 委員
桑原 昇導 委員 ・ 上田 正之 委員 ・ 田中 光枝 委員
白川 牧子 委員 ・ 門田 三雄 委員 ・ 野原 建一 委員
小田 恵子 委員 ・ 加藤 博和 委員 ・ 片山 孝昭 委員
石川 芳秀 委員 ・ 名越 勝美 委員 ・ 川崎 綱人 委員
松島 義治 委員 ・ 原田 吉祥 委員 ・ 田村 義人 委員
草谷 量政 委員 ・ 坂村 廣嗣 委員 ・ 田宮 淳義 委員
4. 欠席委員 藤岡 辰彦 委員
5. 出席職員 庄原市長 滝口 季彦
庄原市助役 入江 幸弘
地域振興部長 國光 拓自
地域振興部企画課長 松園 真
地域振興部企画課企画調整係長 兼森 博夫
地域振興部企画課企画調整係 堀 健司
地域振興部企画課企画調整係 池田 貴徳
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

第1回庄原市長期総合計画審議会次第

平成17年10月24日（月）13:30～
庄原市役所 本館 2階会議室

1. 開 会
2. 市長あいさつ
3. 委嘱状の交付
4. 会長及び副会長の選出
5. 庄原市長期総合計画について（諮問）
6. 会長あいさつ
7. 議 事
 - (1) 審議会の留意事項について
 - (2) 庄原市の概要について
 - (3) 新市建設計画について
 - (4) 長期総合計画策定について
 - (5) 住民意向アンケートについて
8. その他（次回開催の日程ほか）
9. 閉 会

会 議 経 過

(1) 開 会

(2) 市長あいさつ

「長期総合計画」は、ふるさとを共有する市民、行政、議会が一体となって策定する「本市の最上位計画」である。

近畿以西で最大の市域面積を有している本市は、その広さもさることながら、山あい、谷沿いに家屋が点在する特徴的な集落形態の中に、その地域ごと、さまざまな個性や財産、里山文化がある。こうした地域の特性を活かしながら、一体化の形成や一体感の醸成を図り、市民の皆さんが共感できる内容での計画を策定したいと考えている。委員の皆さんの活発な審議をお願いしたい。

(3) 委嘱状の交付

滝口市長から各委員に委嘱状を交付

(4) 会長及び副会長の選出

事務局提案により、野原 建一 委員を会長へ選出

片山 孝昭 委員を副会長へ選出

(5) 庄原市長期総合計画について（諮問）

市長から野原会長に諮問書を手交

(6) 会長あいさつ

大学も合併をするというたいへんな時期を迎えている。庄原市も3月末に市町合併を行ない、今回が新たな総合計画の策定となる。

将来にわたって、広大な市域を持つ庄原市をどのように切り開いていくのか、皆さんの英知を結集して、可能なかぎり実現性の高い計画を策定したい。

また、広く市民の皆さんの意見を反映して、広島県でもモデルになるような計画をめざしたい。

(7) 議事

審議会の留意事項について

資料により事務局が説明

庄原市の概況について

資料により事務局が説明

新市建設計画について
資料により事務局が説明

長期総合計画策定について
資料により事務局が説明・提案

委員：新市になって1年目ということでもあるので、基本構想策定の基礎資料として旧市町の総合計画の概要等を提供いただきたい。

事務局：概要版的なものを用意し送付する。

委員：審議会資料の事前送付をお願いしたい。
また、私たちはどういう役割で発言すべきかわからない。

事務局：次回から可能な限り早い時期に、資料を事前配布したい。
審議会委員の皆さんには、策定本部や幹事会などの庁内組織で計画策定にむけた基本的な資料を作成するので、提示する資料や案に対して、ご意見をいただくことになる。

会長：審議会は、今年度4回の開催を予定しており、今回議論いただくのは長期総合計画の基本構想部分である。

委員：専門部会について、どうなっているのか。

事務局：基本計画策定時の来年度からの設置を予定している。

委員：以前、他の計画策定に携わったが、専門部会のほうが意見を出しやすいので早期に設置をお願いできないか。

委員：専門部会は公募委員も参加したいが、出席はできるか。

事務局：来年度策定をする基本計画の中で、分野別の専門部会の設置を考えている。
基本構想部分については、全体的な話であるため、想定していなかったが再度検討したい。
また、専門部会は、委員全員が関心のある、部会に所属することとしている。

委員：長期総合計画における基本構想作成のスタンスは 20～30 年のビジョンを持つべきではないか。基本理念は概ね 10 年で具体的でわかりやすい表現とし、基本計画については前期 5 年、後期 5 年という展開ではないのか。
今回の総合計画は、どのように考えているのか。

事務局：基本的には新市建設計画を骨組みとして考えている。

旧庄原市では「田園文化都市」をめざしていた。新市になってからは「さとやま文化都市」と言葉は変わっても、理念的には、みなさんと共有できるものでなければならぬ。

このたび策定する長期総合計画は、10 年の計画と考えている。

専門部会の設置については、専門分野での意見を出していただきたいため、基本計画の策定時を考えている。基本構想においては、皆さんで議論してもらうことを考えているため、理解していただきたい。

住民意向アンケートについて

資料により事務局が説明・提案

委員：アンケート調査は、対象の年齢層を重視しても高齢者の割合が多いため高齢者層の意向を反映したものになるのではないかと懸念している。将来像を展望するためには若い人の意見を考慮して欲しい。

会長：アンケート調査の集計では、全体平均値を最初に出すと高齢者の多さからそれに左右されるため、今回の集計では、年代別に集計した上で、最後に全体集計を参考程度で出す。従来集計とは逆手法でやるものとする。また、将来を担う高校 2 年生・中学 2 年生の意見を聞く。調査票は、市民に比べ少し、わかりやすい内容となっている。

事務局：中高生に対しては、回収率を上げるため、授業時間またはホームルームなどで実施をする予定である。

委員：市民アンケート問 35（帰郷してほしい家族の状況）は、家から出ている子どもが複数いる場合、誰を対象として回答するかわからない。

事務局：一般的に帰ってきて欲しい跡取りを想定している。

会長：市民アンケート問 37（転出している家族が帰郷しない理由）は、自分の子どものことでも書きにくいと思う。事務局で検討してもらう。

委員：アンケートのボリュームが多くて答えにくいと思い、もう少し絞ったらどうか。
調査方法は郵送による回収ということだが、回収率は低いと思うがどうか。
アンケート内容については、基本構想に参考になるような設問はどうか。地域性を考慮した選択肢がもっと必要ではないか。

会長：設問の簡素化と基本構想に直結した設問については、事務局で再検討してもらおう。

委員：中学生については、事前に中学生版の市政要覧などの資料を配布すべきだと思う。
高校生は、市民アンケートにある「安心・環境」「教育・学習」は答えられる内容と思う。生徒の生の声を聞いて欲しい。
また、各地域が活力を出せる報告書を作って欲しい。廃校校舎や支所の空きスペースが出てきている。その活用も考慮して欲しい。

会長：中高生のアンケートは、市民向けアンケート内容でも十分理解可能な部分がある。
また、アンケート調査の参考となるような市の基礎資料の提供を可能な限り対応していただきたい。

事務局：高校生向けアンケートに、市民アンケートの「安心・環境」「教育・学習」を入れることについては、学校関係者などの意見も聞いた上で検討をする。
また、設問については今回の意見を反映して、再度構成したい。

会長：今月中にアンケート内容の修正及び調整をして、11月に実施すれば、12月の審議会に間に合うと思う。

事務局：中高生アンケートは、市民アンケートと同様に政策に反映していきたい。

会長：アンケートの集計は、年代別、中・高生別にとりまとめるということ。
市民アンケートの回収率において、一般的に高齢者の回収率はよいが、若い人の回収率が低いので、事務局に努力して欲しい。
アンケート修正案は委員のみなさんには再度送付して確認してもらい、印刷、実施という運びになる。

(8) その他

事務局：次回開催の日程は、12月20日(火)13:30を予定したい。
また、地域ワークショップにおいても、ご意見をいただきたい。

会 長：地域ワークショップの開催はいつごろか。

事務局：第1回のワークショップは11月中を予定しており、現在、会員を公募中である。

(9) 閉 会